

山井教雄著「まんがパレスチナ問題」を読む

- 民族紛争解決のポイントを考える -

民族紛争解決のポイントは、「憎しみや恨みを忘れて、テロと報復の連鎖を断ち切ること」と、「隔離や分離をしないで他民族が平和に融合した社会を目指すこと」た。

差別した、されたという過去は消せないが、互いに許し合って行こう。必要なのは「融和」なのだ。

P.263

民族及び民族意識はそのときの政治の都合により、人工的につくられるものだ。

民族は命をかけて戦い、^{まも}護るほど確固たる概念でもないし、崇高なものでもない。

今後民族主義は国際的に広がり、人類にとってはガンになるだろう。私は反民族主義のマンガを描き続け、この流れに抵抗しよう。

P.266

山井教雄著「まんがパレスチナ問題」講談社現代新書、講談社 2005年1月20日刊

- 2006年9月29日記 -